

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クラブ宇都宮校ANDY		公表日		令和7年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	放デイの児童とは学習に取り組む時間を分けている。	学習において、放デイの児童と同室になってしまう時がある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	職員一人に対して最大三人の児童になるように配置している。	今後も継続していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	5	2	利用時の体格に合わせて、可能な限り設置している。	今後も都度確認をしていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	6	2	利用時間が終わり次第、おもちゃの片づけや、掃除機、消毒を行っている。	今後も継続していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	2	臨機応変に様々な部屋を使用できる配置を行っている。	今後も継続していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	4		保護者との面談の内容や、更新された個別支援計画などを、出勤のタイミングで全員が目を通すことができるよう回覧板を設置している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	3	満足度調査の内容を職員内回覧として全体に周知を行っている。	今後も継続していく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	事業所内研修の際に打ち合わせも同時進行して行っている。	今後も継続していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	6		現在、外部評価を行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	4	施設内研修は、全職員が参加できるように複数日で実施している。	今後も継続していく。	
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	5	職員全体で話し合い、支援プログラムの作成を行っている。	今後も継続していく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	3	保護者との日々の関わり合いの中で、ニーズや目指しているところを把握し、全体周知を行ったうえで作成を行っている。	今後も継続していく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	4	職員全体で意見を出し合い、作成を行っている。	今後も継続していく。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	3	作成後、全職員が閲覧できるように回覧板を配置している。	今後も継続していく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	5	KIDS乳幼児発達スケールを今後使用していく。	今後も継続していく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	3	保護者のニーズや、子どもの様子を理解したうえで作成している。	地域支援に関しては難しい状況となっているため、イベントの際などには近隣の方に声を掛けていくことも検討している。	

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	4	職員全体でプログラムを策定し、担当の日に割り振る形式をとっている。	今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	固定化はしているが、子どもの様子に合わせて臨機応変に対応を行っている。	今後も継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	2	集団活動の予定だったが、子どもの様子に合わせて、個別活動に切り替えることが可能なように準備を行っている。	今後も継続していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	6		全体での打ち合わせを月に一度行い、日頃から個人間でも共有をしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	6		個人間での共有や、優先順位が高い情報に関しては、LINEなどを用いて全体共有を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	2	日報の入力を行う前段階として、子ども一人ひとりの連絡帳を日々作成している。	今後は事業所で使用している日報のシステムアプリを使用していく検討をしている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	3	6か月に一度のモニタリングを実施しており、保護者からのニーズを聞き出している。	今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	5		会議への参加はないが、月に何度か相談支援事業所との電話でのモニタリングや、対面でのモニタリングを行っている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	5		児童が通っている幼稚園や保育園、こども園の担任の先生とは、送迎時に様子の共有を行っている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	5		今後検討していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	5		日々の送迎時に情報共有はできているが、移行のタイミングでは行うことができていないため、検討していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	5		現状行っていない。今後検討していく。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		現状行っていない。今後、地域に開かれたイベントの開催も考えていく。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時や面談時、イベントの際に保護者とのコミュニケーションを図り、ニーズや家庭での状況を共有している。	今後も継続していく。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	家族参加型のイベントを開催しており、その際に子どもとは部屋を別にし、情報交換等を行っている。	今後も継続していく。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	契約時に、重要事項説明書を用いて説明を行っている。	今後も継続していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	2	6か月に一度のモニタリングの際に、子どもの様子を伝え、家庭での様子を踏まえて決定したものを作成している。	今後も継続していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	3	作成した支援計画を保護者と読み込み、同意を得ている。	今後も継続していく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	面談モニタリング以外にも、ご連絡があればいつでも話をできる機会を設けている。	今後も継続していく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	保護者会は現状存在していないが、イベントの際に保護者と子どもを別の部屋での活動に分け、情報交換ができる機会を設けている。	今後も継続していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	1	悩み事や不安などに対して、相談いただければいつでも話ができる機会を用意している。	今後も継続していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	3	LINEを用いて、行事予定などの出欠席等連絡を行っている。	日報のシステムアプリの利用を検討している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	鍵付きのキャビネットに保管している。営業終了後には鍵をかけ、見えないところに保管している。	今後も継続していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	日頃から送迎時には当日の様子や、先生から伺った園での様子を伝えている。	今後も継続していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		現状行っていない。今後、検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	3	マニュアルを策定し、事業所内に掲示してある。	来年度、防犯訓練を検討している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2	昨年10月に火事を想定した避難訓練を実施した。	全児童が参加できるように複数実施日を検討している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	アセスメントシートを用いて、ファイリングを行い、いつでも閲覧が可能な状態にしている。	今後も継続していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	食物アレルギーのある児童に対して、適切に対応できるよう職員内で共有していく。	今後も継続していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	2		来年度、防犯訓練を検討している。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	有事の際には、すぐに保護者と連絡が取れるよう連絡先を一つの書類にまとめて、非常用持ち出し袋の作成も進めていく。	今後も継続していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	5		有事の際には事故報告書を作成し、職員全体で確認・閲覧できるよう保管場所を共有している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	4	日頃から全職員で話し合いを行い、新たに入職した職員に対しても研修をしていく。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	4	利用契約の際に同意書を用いて、保護者への説明を行っている。新しい職員に対しても同様に研修をしていく。	